

# 市政 おお おの

No.277

52.6.1

## ミズバショウ しずかに開花

純白のミズバショウは5月中旬から6月上旬が見どころ。

鳩ヶ湯から約5<sup>km</sup>。上の小池の奥平に100株ほどの群生地があります。

四方の山の谷や尾根にはまだ雪が残り、ブナ・ナラの新緑に混じって

コブシや岩ツツジが咲いています。

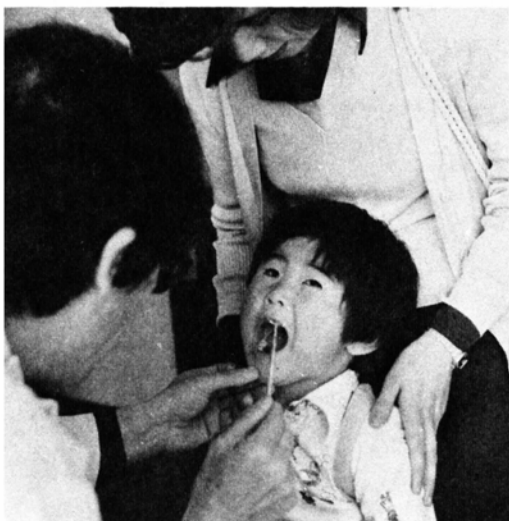
山を登るにつれて自然の涼気がハイカーたちを心地よく包みます。

東に白山、別山、三ノ峰の霊峰を望む自生地に着くと、疲れも忘れて自然の美しさに見とれるばかり…。

福井県はミズバショウの南限といわれ、大野市ではこの奥平と上打波の失高谷、栗原の倉ノ又の3カ所で群生地が見つかっています。(写真は白山、三ノ峰を望む奥平のミズバショウ群生地)

# 10人中9人は「虫歯」

歯の衛生週間  
4月10日



虫歯の早期発見のため、ことしから始めた2歳児の歯の検診

6月4日は「虫歯予防デー」です。6月の「6」を「む」4日の「4」を「し」と読んでユーモラスな着想の記念日は日本歯科医師会が昭和3年に提唱したものです。この後昭和30年には4日から1週間が「歯の衛生週間」となりこの期間歯の健康運動が毎年全国的に繰り広げられています。この機会に「私たちの歯」についていま一度考えてみましょう。

## 3歳児すでに虫歯6本

今あなたは虫歯がありませんか。ズキズキする痛さはまさに「悲痛」そのもの、多分この経験はあなたにもあるはず。このように断定的な言い方をしても差し支えないほど多いのが虫歯です。

昭和51年の国民衛生の動向によりますと、国民の85.7%が虫歯保有者で、しかも1人平均6.7本も持っているという結果が出ています。

これは大野市民も同じことで、歯の治療件数を国民健康保険でみますと、延べ人数で昭和48年度1万5,923人、49年度1万5,433人、50年度1万5,587人、51年度1万5,245人であり、国民健康保険加入者数が年々少なくなっている中で、治療件数が横ばいであることは、歯の患者が多くなっていることを物語っています。

また、子供の歯の状態では小学6年生（昭和52年5月学校保健会大野分会調べ）526人中455人が虫歯、り（罹）患率86.5%というデータが出ており、それに大野保健所が毎年行っている3歳児検診の結果（下表）があります。これまた大人同様の高い患率です。

3歳児は昭和51年において全体の81%にむし歯があり、しかも20本の乳歯のうち約6本がむし歯という結果です。

### 3歳児検診の結果

（大野保健所調べ）

項目	年度	47	48	49	50	51
検診総数		596	605	581	615	649
虫歯のある子供の数		482	489	458	505	526
り患率		80.8	80.8	78.8	82.1	81
虫歯のある子供の1人当たりの虫歯本数		5.2	5.6	5.1	6.1	5.9

## 「1本ぐらい…」は禁物

歯は心臓や胃、腸などと同じに体の重要な器官です。ところが大人なら28~32本、子供なら20本とたくさんあることから「1本ぐらいなくても」とついおろそかに考えがちです。

歯は「食物をかむ」「発音を助ける」「顔だちを整える」などの役目があり、その1本1本にも大切な役割があります。「かむ」ことに例をとりますと、歯が全部そろっているときのかむ力を100とすれば、1本抜けたときは63に落ちてしまいます。むし歯が多ければ食欲も減り、偏

スマイル

「虫歯予防デー」

無視してはいけませんゾ!!

—6月4日

食しがちになり、なかには微熱が続きリンパセンがはれ、さらに心臓病やジン炎、リウマチ性関節炎などの原因にもなります。

特に幼児の虫歯は発育への影響が大きく、身長、体重などの発育が悪くなったり、正しい発音が出来ないため話するのが苦痛になり、内向的な性格になることもあります。

また、乳歯が虫歯になると永久歯との生え変わりがうまくいかず、八重歯や乱ぐい歯になってしまいます。

「どうせ生え変わるのだから」と虫歯を放っておくのは親として無責任なことといわなければなりません。

# 予防は正しい歯みがき

## 病原はミュータンス菌

虫歯はミュータンスという連鎖球菌によって起こる病気です。

この菌はいつも口の中に住みついており、食物中の糖分を栄養にして繁殖します。

糖分があると不溶性、粘着性のあるデキストランという多糖類をつくり、これが歯の表面にハクソとなって付着します。このハクソ中に出来た酸によって次第に歯が浸食され、虫歯になるのです。

虫歯を防ぐにはミュータンス菌を近づけなければよいわけですが、これはいつもだれの口の中にも住んでいる厄介もので不可能。このため、菌が繁殖しにくい方法をとることが大切であり、私たちが心掛けなければならない「予防」です。

予防の第1は、菌が好む糖分を取り過ぎないこと。第2は、ミュータンス菌に栄養を与えないように、飲食後口をすすぎ歯を清潔にすること。第3は、よい歯質をつくることで特に子供は歯の基質の材料となるたんぱく質、エナメル質の土台を仕上げるビタミンA、歯の象ゲ(牙)質の土台を仕上げるビタミンC、カルシウムの代謝や石灰化の調節役であるビタミンD、石灰化のための材料となるカルシウムとリンを多く含んだ食品をとるように心掛けなければなりません。

篠島栄一大野歯科医師会長は「虫歯予防の第一は歯みがきですが、単なる縦みがきや横みがきはブラシの毛先の乱暴な往復運動で、歯肉や歯間乳頭を退縮させます。ブラシは毛先ではなく、毛のわき腹を使う回転法にすればくぼんだ所にもよく届き



## 市の対策

### フッ素塗布と2歳児検診

市では大切な幼児の歯を守るため昨年フッ素予防の「フロリアートイオントレー」という機械を1台購入しました。

ことはこの機械を使って市内の幼稚園、保育所の園児約400人に塗布する計画です。

また、3歳児検診の結果、虫歯の子供があまりにも多いため、ことから2歳児検診にも歯の検査を取り入れ、虫歯の早期発見に努めていきます。



家庭で「正しい歯のみがき方」をしつけ

清掃効果も良い」と正しい歯みがきの重要性を強調していました。

## 痛さ知らず80年

### 歯茎を鍛えよう

田中すえさん

(79歳 尾永見)

ここ1~2年で上歯が3本抜けましたが、そのほかの歯は丈夫で堅い食べ物でも若い者と同じように食べられるおばあさん

入歯は1本もなく、これまで歯科医には全く縁がないという幸せな方です。

「体が丈夫でなければ歯も強くないし、よい歯、悪い歯はすでに子供のころに決まるような気がします。若い時は塩で歯をみがき、うがいをしました。これが虫歯予防に役立ったのでしょうか。

歯と同じように歯茎を鍛えるこ

とも虫歯予防とともに大切なことだと思います」と田中さんは体験を語っていました。

### 歯質づくりが大切

高橋仙太郎さん(76歳 篠座町)

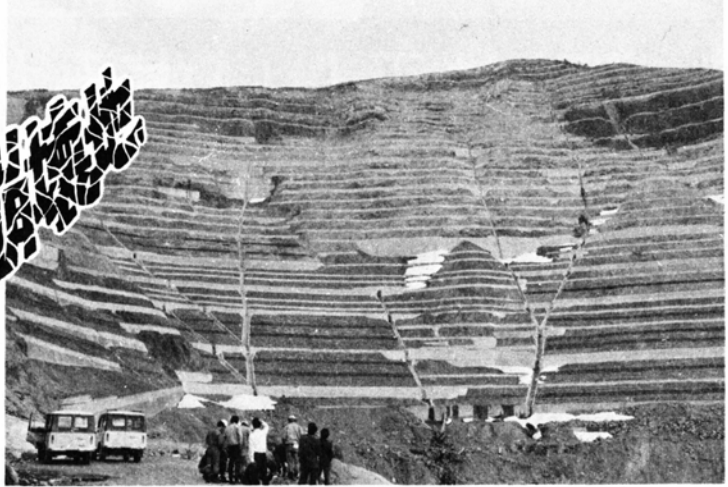
歯科医の門をくぐったのは魚の骨が歯と歯の間に刺さり、抜いてもらった時1回だけ。

虫歯はもちろん入れ歯もなく、なんでも食べられるというたいへん歯の丈夫な方です。

歯を丈夫にする秘けつを尋ねますと「そんなものはありません。あるとすれば親がよい歯質づくりをしてくれたことで感謝しています。日ごろは常識的なことです。歯をきれいにみがくことと、極端に冷たい物や熱い物を食べないでほうろく質を傷めないように気をつけています」と話していました。

# 山を守る

# 山の自然崩壊



幾層にも土止めの壁が設けられた大崩壊地

## 不毛の山はだを緑に

大野市には広大な山があります。このおかげで私たちは豊かな水や良質の木材を得ています。しかし、この恵みも時には一変して市民の生命や財産を奪うようなことがあります。「山の自然崩壊」これは崩れた土砂で谷を埋め、ひとたび水が出ればたちまち下流に大量の土石を押し出し大きな被害を与えます。この恐ろしい自然崩壊を食い止めようと打波、若生子、秋生など市内の約40カ所でことしも治山事業が進められています。特に上打波の「みの又谷」では福井営林署が大規模な工事を進めていますので、その模様をルポしました。

### 昭和18年に山津波 出作り6戸をのむ

中洞からみの又谷の流れに沿って林道を登ること約10<sup>分</sup>、岐阜県境の地に「みの又大崩壊地」があります。みの又谷の入口から山腹を縫うように進むと、まず気がつくのは砂防えん堤の多いことです。

約100<sup>年</sup>置きに設けられたどのえん堤にも土砂がいっぱい詰まり、地元の人が「あばれみの又」と呼んでいる意味がよくわかります。

昭和18年5月18日、谷の最奥部で14<sup>名</sup>が大崩壊し、これが山津波となって2<sup>分</sup>。下流の「岩屋」の出作り6戸を一瞬にして押しつぶし、5人の尊い命を奪いました。

「ここが岩屋だ」と言われても今はその地区跡も見当たらず、大量の土石が谷を埋め尽くしているだけです。

さらに登るにつれて左右に迫る山の各所にがけ崩れが目立ち、赤茶けた山膚は深い谷に向かって垂れ、今にも大崩れせんばかりの不気味さです。標高1,200<sup>年</sup>、やっと目的地の大崩壊地に着きました。

噴火口を思わせるような弓状のノ



### ④9 西南戦争 戦死の墓

明治10年(1877)の西南戦争からちょうど今年100年目です。大野の戦死者は友高安信、滝野土松、高橋常太郎の3氏でした。錦町善導寺境内の錦公園側に大きな自然石の墓があり「熊本県管下肥後国段山進撃之際戦死。高橋常太郎、明治十丁丑年 享季二十五



歳」と刻まれています。これが大野市内に残された唯一の西南戦争のつめ跡と言えるようです。

この戦いは明治維新後日も浅く用兵計画もまだ確定していない時代のことですからはっきりした資料もなく「大野郡誌」発刊当時さえわかっていませんでしたが、このお墓から東京鎮台兵として出征し、熊本城の最弱点地であったと言われる段山の激戦で戦死していることがはっきりとかがえます。

# 三十年の努力に実り

崩壊地は高さ 250<sup>㍎</sup>、幅 250<sup>㍎</sup>、長さ 350<sup>㍎</sup>で山壁は急な斜面に幾層にも土止めのブロック壁が設けられて、全山が大ピラミッドのようです。

これまで二十二億円  
完成は五十五年の春

このみの又谷の防災工事は昭和24年から福井営林署の手で始められ、昭和29年に福井県に引き継がれました。

しかし、度重なる災害で荒廃は拡大するばかりであるため、集中的かつ継続的な工事が必要になり、再び昭和38年から福井営林署の直轄民有林治山事業として進められています。昭和38年から41年までは大崩壊地に通じる道路とみの又谷に砂防えん堤を建設、昭和42年からは大崩壊地の防災工事が始まりました。

これまでにつぎ込まれた工事費は国・県関係合わせて22億 6,300万円です。現在の完成率は約78%、本年度はさらに2億 3,400万円をかけて工事を続け、全部の工事が完成するのは昭和55年の春になります。

大崩壊地は急斜面を45度に統一し高さ6<sup>㍎</sup>ごとにブロックやPNC板で壁を作り、24<sup>㍎</sup>登ごとに水路を設けて雨水を流し、山に負担がかからないように設計されています。

また、土止めした上部にはヨモギ

## 水道週間

1～6日

### ③日本の水道の歩み

わが国の水道の起源は1590年(天正18年)徳川家康の時代に造られた江戸の神田上水(延長約67<sup>㍎</sup>)にさかのぼります。

その後、家光・家綱の時代に多摩川から開きよで取水する玉川上水(延長43<sup>㍎</sup>)が造られ、金沢・福山、名古屋・仙台・鹿児島などの地方でも建設されました。

江戸時代の水道は、水源からヒノキ・松の丸太の中心をくり抜いた水道管で水を引いただけ



のもので、沈澱・口過の浄水は行われませんでした。

近代式水道が設けられたのは明治20年の横浜市が最初です。次いで明治22～31年に東京・広島・函館・長

崎・大阪・岡山市に水道施設が完成。政府は明治23年2月に水道条例を公布して、その施工管理の取り締まりと国の補助を行

いました。大正、昭和と時代が移るにつれて上水道をもつ都市は増加し、昭和32年には公衆衛生の向上と生活環境改善の見地から、水道法が制定されました。現在わが国都市の上水道普及率は99.1%です。

## 水道のはなし

## 懐かしい写真を募集

### 城まつりに「むかしといま展」

ことしのおおの城まつりの特別展として「大野むかしといま写真展」を8月14～17日、越前大野城で開きます。懐かしい建物、町並み、田園風景などの写真を次のとおり募集しています。応募して下さい。

〈写真〉昔の写真とは明治、大正はもちろん昭和初期、終戦前後のもの。今とはその同じ場所の現在の写真です。

〈応募方法〉古い写真はそのまま、今の写真は原則としてキャビネ版に焼いて、住所、氏名、年齢、写真内容を書いて6月30日までに市郷土歴史館(6-0238)へ

### 出品例 昭和25～26年の二番通り



約100メートルごとに設けられた砂防えん堤

クローバ、ケンタッキー、レッドトップなどの草を植え、不毛の山膚を緑に変える努力が根気よく続けられています。

福井営林署大野治山事務所の田端紀男主任は「人間が乱開発して自然を破壊し、その反省として自然をよみがえらせようという営みはよくあります。しかし、自然が自ら起こした崩壊を人間の手で好ましい自然に返そうとしているのがみの又の治山工事です。これでかなりの大雨が降っても大丈夫」と話していました。

## 大野—福井30分、ルートが決定

### ことしから工事始まる

「大野—福井間を30分で結ぼう」という夢のルートが決定し、ことしからいよいよ工事が始まります。

左の地図をご覧ください。これが国道158号線の計画区間で、福井市の前波から犬山までの18.3%です。

道路幅は11~14%の2車線が大半ですが、前波、奈良瀬の一部では25~26%の4車線になる所があります。また、途中にトンネルを6本延長3,695%、橋2本延長282%を設けてカーブを少なくするよう計画されています。総事業費は、今年の積算で145億円。

大野市へのルートは花山峠を通らずに計石から川上に入り、下丁、犬山を経て国道158号線西部バイパスにつなぐ設計になっています。

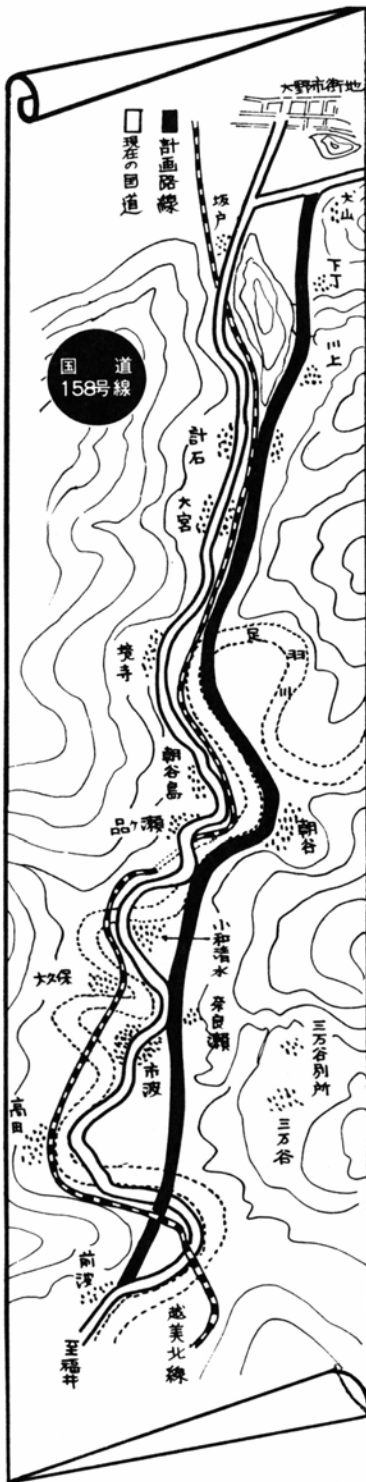
現在の道路は大野—前波間が20.8%ですから、2.5%の短縮となり、山を縫い川に沿ったドライバー泣かせの難所もなくなり、安全にしかも早く福井市へ行くことが出来るようになります。

国道158号線は奥越地方の生命線であるため、過去10数年間大野市、福井市、美山町、和泉村で「国道158号線改修促進期成同盟会」を結成して道路の整備を国に働き掛けてきました。

今回の整備計画もその成果の1つですが、計画区間の全線が完成するのは定かではありません。このため5月31日、市民会館で開かれた同期成同盟会総会では「1日も早い完成を期して、強力にしかも辛抱強く運動する」ことが決議されました。



カーブが多い現在の国道158号線



### 奥越史料第6号、奥越前の民俗芸能

## 文化財資料相次いで発刊

このたび奥越史料第6号(大野市教育委員会発行)と奥越前の民俗芸能(大野市文化協会発行)の郷土の文化財資料が相次いで発刊になります。

奥越史料第6号は全巻150ページで「大野藩店大野屋の研究」「大野藩御用留の抜書」「家紋と金森長近」「旧大野町字名考」「町名むかしむかし」「右近次郎湿地帯および自然林を中心とした生物相の調査結果」——など新たに発見、研究された資料が集録されています。

奥越前の民俗芸能は、市内に伝わ

るわらべ歌、宴歌作業歌、盆踊り歌神楽など250種を182ページに集大成したものです。

奥越史料第6号(1冊800円)は6月20日から各書店に、奥越前の民俗芸能(1冊2,000円)は6月30日から各公民館、市教育委員会でお分けしています。また奥越史料第4号(記念碑編…市内の墓碑の文書をわかりやすく解説)、奥越史料第5号(記録編…柳廻社新宮願、淡川家系図などの文献記録)、大野市教育百年史(大野の近代教育の変遷)にまだ若干在庫があり、奥越史料(各800円)大野市教育百年史(1,200円)とも各書店にありますので、この機会にお求め下さい。

### 今月の納税

市・県民税、国民年金  
保険料 第1期分

30日までに納めて下さい。

## 大野気象通報所

二十一年の  
歴史とじる



四月三十日で廃止になった大野気象通報所

### 雨・気温・風・日照は機械観測で続行

21年間にわたって奥越の気象を観測してきた大野気象通報所（職員2人）が4月30日で廃止され、機械観測に切り替えられました。

現在、雨量、気温、風、日照時間の4項目が無人で観測され、気象庁と福井地方気象台へ送信されています。今後、大野市に特に影響の大きい雪の観測については、委託観測が行われる予定です。

同通報所は昭和28年の梅雨前線豪雨、台風災害を契機に、水害防止のための雨量観測を主目的としてつくられました。

雪の多い大野市にとっては重要な情報源であるとともに、大野の特異な気象条件を踏まえた天気相談に応じるなど市民に親しまれてきました

そのため、大野市は「存続」を強く要請してきたのですが、気象庁は昨年8月に打ち出した全国23カ所の通報所をなくする方針を変えず、このたび廃止に踏み切りました。

その理由として①通信技術の発達によって遠隔地の観測が自動的に出来るようになった②雨量や風向、気温、日照時間などの気象データを自動的に収集出来るアメダス（地域気象観測システム）が開発された③気象庁の組織替えが行われた——などです。

無人化への措置は誠に残念ですが市としては今後、大野の特異性である雪の観測を中心に、住民サービスが著しく低下しないよう、気象庁へ働き掛けていきます。

りますが、小・中学生の場合は親の同意が必要です。参加希望者は6月9日（木）までに市体育課（6-11 11内線 406）へ申し込んで下さい。

#### ◆はかりの検査を受けましょう

はかりの定期検査が次のとおり行われます。商取引に使用するはかりは毎年検査を受けなければなりません。最寄りの場所で受けて下さい。この際、手数料35～960円（はかりによって異なる）が必要です。

## 所得税の特別減税

### 本人に6,000円返る

請求必要な人は手続き忘れずに

昭和51年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。還付される金額は、本人6,000円、控除対象配偶者や扶養親族1人につき3,000円として計算した金額です。ただし、納めた所得税額の方が少ないときは、その税額までです。

還付方法とその手続きは次のとおりです。

＜サラリーマンの場合＞

6～7月の賞与や給与を受け取るときに勤務先から還付されます。

＜事業所得者などの場合＞

6月下旬に税務署から還付金額をお知らせします。その際、同封された還付請求書に所要の事項を記入して税務署へ返送して下さい。後日、還付金の支払通知書を本人あてに送りますので、郵便局で環付金を受け取って下さい。

＜その他＞

給与の税金を源泉徴収で納め、年末調整を受けているが、ことし5月末までに退職した人、昨年中途で退職したなどのため、給与の税金を源泉徴収されたままで年末調整を受けていない人などは、税務署へ還付請求をして下さい。

詳しいことのお問い合わせは大野税務署（6-2180）へどうぞ。

## お知らせ

#### ◆大野マラソン大会に参加を

大野マラソン（従来の市民マラソン）大会が6月12日（日）に行われます。午前9時市役所前に集合、10時に2<sup>号</sup>、5<sup>号</sup>、12<sup>号</sup>の各コースに分かれて出発します。男女とも小学5・6年生、中学生、高校生、一般の人を対象として自分の体力に合ったコースを選んで参加することにな

6月22日（水）午前10時～12時	富田公民館
6月22日（水）午後1時～3時30分	下庄公民館
6月23日（木）午前10時～午後3時30分	市民会館
6月24日（金）午前10時～午後3時30分	市役所
6月27日（月）午前10時～12時	上庄公民館
6月30日（木）午前10時～午後3時30分	市役所



◆結婚相談は有終会館で

毎月第1・3金曜日に市役所で行われていた結婚相談は、6月から毎月第1・3水曜日午前10時～午後3時有終会館第4会議室で開かれることになりました。

4人の相談員が親身になって相談に当たっており、秘密は堅く守られます。気軽にご利用下さい。

◆交通災害共済未加入者は早く

年額450円の掛金であなたを守る交通災害共済に未加入の方がまだかなりいます。希望者は早く市生活環境課で手続きをして下さい。

◆倒木、折損木被害調査報告を

雪による倒木起こし、折損木の被害調査を4月中にお願いしましたがまだ報告されない方がかなりいます。豪雪災害対象申請の資料になりますので、0.1畝以上、5年生以上の造林の所有者で未報告の方は早く市林務課へお知らせ下さい。

◆意見や要望を県政広聴員に

昭和52年度の県政広聴員に次の方々々が委嘱されました。広聴員は県政に対する県民の意見や要望をまとめて県行政当局へ伝達する役割をします。あなたの意見、要望を近くの広聴員にお寄せ下さい。(敬称略)

福田妙子(東中) 松田国也(天神町) 広瀬光代(日吉町) 藤井道明(錦町) 牧野正樹(中野1丁目) 宮本智子(中荒井2丁目) 盛川求(中丁) 松田道夫(千歳) 山田修子(今井) 常見悦郎(上野) 佐々木和子(木落) 岸本利夫(松丸) 前田清(西勝原)

◆料金徴収駐車場は届出を

都市計画区域内で500平方メートル以上の駐車場をもち、不特定多数の者に貸して料金を徴収しようとする場合は「駐車場法」により管理者はその駐車場の位置、規模、構造、設備などを県知事に届け出なければならないことになっています。

届け出に関する詳しい内容は、市役所都市計画課(6-1111内線321)へお尋ね下さい。



◆くらしの講座15日に開講

ことしの「くらしの講座」は6～12月中に12回行われます。

6月は下記のとおり下庄公民館で開かれますので受講して下さい。

15日(水)午後1:30～4:30 開講式「消費者行政のしくみ」「買い物上手になるには」

講師・県生活センター 所長 山本 鴨氏

25日(土)午後2:30～4:30 「私たちをとりまく情勢」

講師・日刊福井編集局長 坪川常春氏

◆公害測定的一般公開

6月5～11日は環境週間です。この一環行事として県の公害測定車が、大気汚染調査を4～20日六間通りの大野商工会館前でやります。6・7日には午前10時～午後4時に測定状況の一般公開と公害苦情相談が開かれます。ご利用下さい。

◆整形更生相談、7月5日

整形更生相談が7月5日(火)午後1～3時大野保健所で行われます。県立病院の医師が相談に当たりますので、ご利用下さい。

◆県政バスは21日

県政バス教室が次のように行われます。ご希望の方は6月14日までに県広報課県民相談室(福井市大手3丁目17-1)へ住所、氏名、年齢、連絡方法を往復はがきを書いて申し込んで下さい。

〈期 日〉6月21日(火)

〈集 合〉越前大野駅午前8時20分

〈対象・人数〉一般60人

〈コース〉国鉄越前大野駅→中央卸売市場→繊維工業試験場→福井臨海→越前海岸→国鉄越前大野駅

◆大野風物絵入はがきの利用を

大野郵趣会では「ごさぼうし」「朝市」「おおのおどり」の大野風物画の絵入はがき3枚入りセット(100円)を大野郵便局窓口で発売しています。四季折り折りの便りにご利用下さい。

「お歯黒」と言っても、若い人たちはピンとこないと思いが、大正時代には当市においてもお歯黒婦人が多く見かけられたし、その用具は現在も各所で散見される。▼文献によると、平安時代に公家(くげ)がお歯黒をし、また、一の谷の戦に敗れた公達(きんだち)も黒く染めていたようである。その後江戸時代に入つて、男子のお歯黒は影をひそめ女子専用となり、この風習は明治時代はちろん、所によつては大正末期迄も続いたようである。▼お歯黒は女性の化粧といわれたが、後世にはむしろ結婚時の誓いのしるしであつて、他の色には染まらない、すなわち二夫には仕えない、という意を表示するため、お歯黒をして嫁いだそう。▼ツボの中に水、鉄クズ、酢、五倍子粉(ふしの粉)を粉にしたものを混入して製造したのがお歯黒水で、これを繰り返して塗り返し歯に塗った。ところがこのお歯黒水に含まれているタンニン、酢酸第一鉄は虫歯予防に大いに役立ち、現代医学はこれからヒントを得て虫歯予防薬を製造したのだそう。立派な生活の知恵である。▼歯は食物をかみこなし、発音を明確にしたり、また面相を整えるにも大切な役割を果たしている。こんなに大切な歯、「歯の衛生週間」を機に、いま一度思いを新たに、いっつまでも美しく丈夫に持ち続けたいものである。 D 生

